

事業者と地域をつなぐ 健都ヘルスサポーター



企業・研究機関



健都ヘルスサポーター会員

- ①新製品・サービスの試作品等を提供
②市民ニーズ等のアンケート調査
③健康情報の提供
- ④新製品・サービスを試して
健康データ・意見をフィードバック
⑤市民ニーズの提案

みんなの声で技術をカタチに
市民ニーズに応じた新製品の開発を
実現する双方向システム

健都ヘルスサポーターとは、実証研究・モニター調査の募集やアンケート調査等を行えるLINEを活用した会員システムです。企業・研究機関の商品開発、社会実装を加速させるとともに、サポーターに健康情報のフィードバックを行い、市民のライフスタイルの変容を促します。

地域実証事業の取組

健都内の実証フィールドを活用し、主に市民を対象とした実証研究・モニター調査などの取組を行っています。製品・サービスの実用化・社会実装を目指すとともに、実証参加者も健康への気づきがあるという両者メリットのある仕組となります。



国立循環器病研究センター監修の脳・心臓疾患からの運動機能改善プログラム体験



脈波計を使った血管の健康チェックイベント



共創の場形成支援プログラム

国立循環器病研究センターを代表とし、多数の機関が参画する産学官民連携プロジェクトが、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム(バイオ分野・本格型)」に採択されました。世界モデルとなる総合健康産業都市拠点を健都に設け、他のライフサイエンス産業拠点との連携から地域実証までを担う(一社)健都共創推進機構を設立することで、研究・開発から社会実装(産業化)までを強力に推進することを目指しています。

地域実証事業に関する問合せ先
一般社団法人
健都共創推進機構

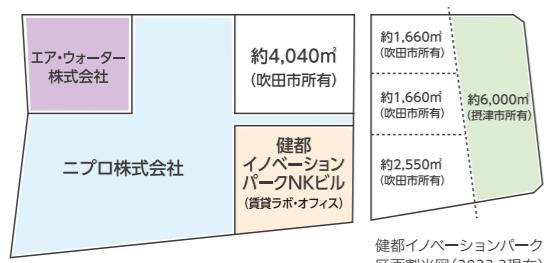


詳しくはホームページを
ご確認ください。

健都にご興味のある事業者のみなさまへ

「健都イノベーションパーク」において、健康・医療分野における先端的な研究開発を行う企業の研究施設等を集積させ、複合医療産業拠点(医療クラスター)の形成を進めています。また、国立循環器病研究センターの「オープンイノベーションラボ(OIL)」では、入居企業等と国循の医師・研究者らとの密接な連携体制の構築を進めており、研究成果の事業化を通じて、持続可能な医療クラスターを形成するための一翼を担っています。

健都イノベーションパーク



各種支援制度、優遇制度

健都イノベーションパーク・OIL進出に当たっての税制優遇等を大阪府・摂津市で行っています。(令和5年3月時点)適用には条件があります。詳しくは各機関へお問合せください。



大阪府ホームページ



摂津市ホームページ

※OILで登記した場合は、吹田市の補助制度を活用いただけます。

問合せ先

吹田市健康医療部 健康まちづくり室 〒564-0072 大阪府吹田市出口町19番2号 TEL:06-6384-2614 MAIL:kento@city.suita.osaka.jp
摂津市保健福祉部 保健福祉課 〒566-8555 大阪府摂津市三島1丁目1番1号 TEL:06-6383-1386 MAIL:hoken-fukushi@city.settsu.osaka.jp

2023年3月



北大阪健康医療都市

Northern Osaka Health and Biomedical Innovation Town

医療イノベーションと新しいライフスタイルで、
健康寿命の延伸をリードするまちへ



北大阪健康医療都市（健都）のまちづくり



医療イノベーションと新しいライフスタイルで、健康寿命の延伸をリードするまちへ

- ① 健康への意識を変え、新しいライフスタイルを創造する
- ② 医療イノベーションにより「循環器病の予防と制圧」を実現する
- ③ 健康づくりと医療イノベーションの好循環で、地域の活力を創出する

■ 吹田市と摂津市の両市にまたがる北大阪健康医療都市（健都）では、国立循環器病研究センターや健都イノベーションパーク（企業の進出用地）などオープンイノベーションの拠点となる場を整備する一方、駅前商業施設、健都レールサイド公園など、市民が集う場を整備し、「実証フィールド」として活用することで、「健康・医療」をコンセプトとしたまちづくりを進めています。

■ 国立循環器病研究センターを代表機関とする産学官民連携プロジェクトにおいて、健都に「共創の場」の拠点を設け、トップレベルの研究者の収集させたバイオ研究拠点を形成するとともに、健都の実証フィールドを活用することで、「イノベーションによるヘルスケア産業の創出」と「新しいライフスタイルの創造」の好循環を生み出します。

① 健都レールサイド公園

『気付き』『楽しみ』ながら『学べる』をコンセプトとした公園。国立循環器病研究センター等による監修のもと、複数のウォーキングコースや健康遊具を整備。



② 健都ライブラリー

健都レールサイド公園の一角にあり、各種健康イベントが開催できる多目的室や、カフェスペースなどを備える図書館を多機能化した施設。1Fにはゼロ系新幹線の先頭車両を展示。



③ 多目的スポーツコート(Sportivo吹田)



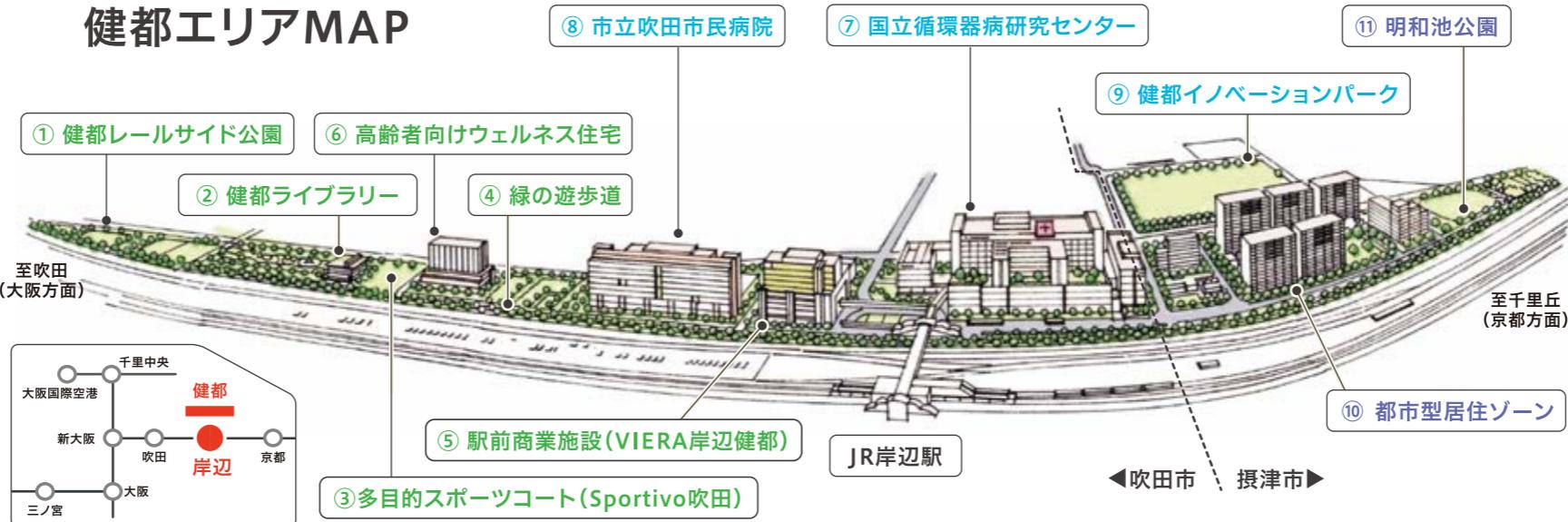
＜多様な競技・幅広い世代・多彩な交流＞を実現する多目的スポーツコート。フットサルコートでのスポーツ教室等の開催に加え、時間制のレンタルコートも運営。

④ 緑の遊歩道



JR吹田駅から千里丘駅まで東西約3kmの遊歩道。ウォーキングや桜が楽しめる憩いの場。

健都エリアMAP



⑤ 駅前商業施設(VIERA岸辺健都)



利用者が自然に健康を意識して生活が送れるよう行動を促す複合施設。物販店、飲食店、クリニックモール、フィットネスクラブ、高齢者健康施設、交流スペース、ホテルなどが入居。

⑥ 高齢者向けウェルネス住宅(patona吹田健都)



健康・医療・介護・多世代交流をテーマとした複合居住施設。サービス付き高齢者向け住宅、一般賃貸住宅のほか、診療所、介護事業所、保育施設、学習施設、フィットネス施設、物販店などが入居。入居者を対象とした国立循環器病研究センターとの共同研究を実施。

⑦ 国立循環器病研究センター

「病院」「研究所」「オープンイノベーションセンター」が一体となった国立高度専門医療研究センター。センター内には企業・大学等との共同研究の拠点としてオープンイノベーションラボ等を整備。



⑧ 市立吹田市民病院

急性期医療や高度医療、救急医療を担う吹田市の中核病院。



⑨ 健都イノベーションパーク

東京から移転した医薬基盤・健康・栄養研究所のほか、健康・医療関連企業等の研究・開発施設が集積する企業の進出用地。NKビルには、賃貸ラボ・オフィス、交流スペースも整備。



健都イノベーションパーク
NKビル

ク・ラスター・ラウンジ
(ビル内1F)

⑩ 都市型居住ゾーン



健康をコンセプトとした新築分譲マンション。日本初となる国立循環器病研究センターとの連携サービスを導入。

⑪ 明和池公園



平常時には市民の憩いの場となる芝生広場、健康遊具、大型遊具、休息施設、水景施設など併せて、災害時には一時避難場所として機能する広いグラウンド、防災設備なども整備した公園。